



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 アイカ工業株式会社  
コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 百々 聡

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,054	4.9	4,606	14.1	4,716	14.5	2,733	16.0
23年3月期第2四半期	41,984	8.1	4,038	21.1	4,120	19.2	2,356	19.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,618百万円 (40.9%) 23年3月期第2四半期 1,857百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.88	41.86
23年3月期第2四半期	36.12	36.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	94,859		73,697		77.0
23年3月期	94,638		72,124		75.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 73,014百万円 23年3月期 71,459百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
24年3月期	—	17.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成24年3月期の間配当金17.00円には2円の記念配当を含んでおります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	6.5	9,500	2.3	9,700	2.7	5,600	3.4	85.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	69,890,664 株	23年3月期	69,890,664 株
24年3月期2Q	4,637,586 株	23年3月期	4,637,315 株
24年3月期2Q	65,253,174 株	23年3月期2Q	65,247,298 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故に起因して電力や原材料の供給が不安定な状態となり、生産活動や個人消費の減退が見られました。また、米国や欧州における金融不安による海外需要の減退懸念や急激な円高の進行といった不安材料も重なり、先行き不透明な環境が続きました。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は対前年で増加傾向にあります。依然として低水準で推移しております。一方、非住宅市場におきましては、全体的に堅調に推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、災害リスクに備えた生産拠点の分散化、顧客に密着した営業活動の強化、原材料高騰を受けた販売価格の適正化、海外拠点拡大による海外市場への取組強化、市場ニーズにマッチした高意匠・高機能な商品開発に鋭意取り組んでまいりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高44,054百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益4,606百万円（前年同四半期比14.1%増）、経常利益4,716百万円（前年同四半期比14.5%増）、四半期純利益2,733百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤の販売は低調でしたが、建築施工用接着剤が堅調に推移したことに加え、新規分野として取り組んでいる太陽電池向け接着剤が順調に売上を伸ばすことができたため、接着剤系商品全体としては堅調に推移いたしました。

樹脂系商品は、公共投資の抑制により厳しい状況で推移いたしました。東日本大震災の復旧用途でコンクリート補修用樹脂「ジョリシール」などが伸びたことに加え、環境および作業性に配慮した上下水道向け防蝕材「ダイナミックレジン」の拡販に努めた結果、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、化粧品用途を中心とした国内市場向けの売上が大幅に増加いたしました。

しかしながら、原材料価格上昇の影響により収益が圧迫されるなど、営業利益は前年と比べ減少いたしました。

このような結果、売上高は15,740百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）992百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

#### (建装材セグメント)

建装材商品は、東日本大震災の影響から主力の店舗・商業施設物件の着工が低迷するなど厳しい環境となりましたが、指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつ高意匠メラミン化粧板「セルサス」や、耐摩耗性・耐汚染性など機能に優れる化粧ボード「マーレスボード」など、特徴ある商品が堅調に推移いたしました。また、安心・安全をキーワードに、色柄が連動するメラミン化粧板やフィルムシート材、不燃化粧材等の販売強化を図った結果、医療・福祉施設、教育施設、交通施設などの分野において受注を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は11,359百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）2,198百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

#### (住器建材セグメント)

インテリア建材は、トレンド柄を活かした「マーレスⅡクラスSシリーズ」が好調に推移するとともに、柄の豊富さとメラミンポストフォーム扉の意匠を特徴とした収納システム「アイキャビ」も順調に売上を伸ばすことができました。医療・福祉施設向けの機能戸「UD（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」、集合住宅向けのメラミン扉や洗面カウンター「アイカスタイリッシュカウンター」などの新商品が好調に推移いたしました。また、不燃化粧材「アイカセラル」は、東日本大震災で被害を受けた浴室やキッチンの壁面リフォーム用途での採用が増加するとともに、医療・福祉施設、教育施設向けも堅調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は13,865百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）2,060百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

#### (電子セグメント)

主力のプリント配線板は、東日本大震災の影響により、パターン設計を中心とした新規開発品が伸び悩みましたが、医療機器・半導体関連など産業用途が好調に推移したことにより、全体としては横ばいとなりました。電子材料は、中国を中心としたアジア市場において成型性に優れるハードコートフィルム「ルミアート」の販売が伸び、国内市場ではフィルム用途でブロッキング特性に優れるハードコート樹脂が拡販できたため、全体として大きく売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は3,089百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）334百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ220百万円(0.2%)増加し、94,859百万円となりました。主な資産の増減は「現金及び預金」が2,410百万円、「商品及び製品」が579百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が2,698百万円減少したことなどによるものであります。負債は前連結会計年度末に比べ1,352百万円(6.0%)減少し、21,161百万円となりました。主な負債の減少は「支払手形及び買掛金」が523百万円、「未払法人税等」が474百万円及び「長期借入金」が118百万円減少したことなどによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,572百万円(2.2%)増加し、73,697百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」が2,733百万円となったことと、剰余金の配当を実施したことによる1,109百万円の減少及び「その他有価証券評価差額金」が143百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5ポイント増加し、77.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成23年4月28日公表の業績予想からは変更ありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,510	30,920
受取手形及び売掛金	32,647	29,948
商品及び製品	3,176	3,755
仕掛品	288	278
原材料及び貯蔵品	1,566	1,825
その他	2,507	2,511
貸倒引当金	△135	△125
流動資産合計	68,562	69,115
固定資産		
有形固定資産	16,668	16,401
無形固定資産	766	525
投資その他の資産		
その他	9,164	9,338
貸倒引当金	△522	△521
投資その他の資産合計	8,641	8,816
固定資産合計	26,076	25,743
資産合計	94,638	94,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,657	14,134
短期借入金	329	296
未払法人税等	2,079	1,604
賞与引当金	1,272	1,196
その他	2,441	2,337
流動負債合計	20,779	19,569
固定負債		
長期借入金	709	590
退職給付引当金	286	269
その他	738	732
固定負債合計	1,734	1,592
負債合計	22,514	21,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,780	13,780
利益剰余金	52,325	53,948
自己株式	△4,763	△4,675
株主資本合計	71,234	72,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	404
繰延ヘッジ損益	11	△4
為替換算調整勘定	△335	△332
その他の包括利益累計額合計	224	67
新株予約権	19	27
少数株主持分	646	655
純資産合計	72,124	73,697
負債純資産合計	94,638	94,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	41,984	44,054
売上原価	30,276	31,649
売上総利益	11,708	12,404
販売費及び一般管理費	7,669	7,798
営業利益	4,038	4,606
営業外収益		
受取利息	22	17
受取配当金	91	99
設備賃貸料	41	54
その他	79	75
営業外収益合計	234	246
営業外費用		
支払利息	8	6
売上割引	33	37
減価償却費	33	35
その他	77	56
営業外費用合計	152	136
経常利益	4,120	4,716
特別利益		
固定資産売却益	102	6
投資有価証券売却益	25	3
その他	25	0
特別利益合計	152	9
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	—
投資有価証券評価損	116	82
調査費用	—	60
その他	58	26
特別損失合計	274	168
税金等調整前四半期純利益	3,999	4,557
法人税、住民税及び事業税	1,447	1,604
法人税等調整額	139	174
法人税等合計	1,587	1,778
少数株主損益調整前四半期純利益	2,412	2,778
少数株主利益	55	45
四半期純利益	2,356	2,733



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,412	2,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△465	△143
繰延ヘッジ損益	△12	△15
為替換算調整勘定	△76	△0
その他の包括利益合計	△554	△159
四半期包括利益	1,857	2,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829	2,576
少数株主に係る四半期包括利益	28	42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,999	4,557
減価償却費	1,394	1,314
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△75
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	△16
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	△60
長期未払金の増減額 (△は減少)	△135	△3
受取利息及び受取配当金	△113	△116
支払利息	8	6
固定資産売却損益 (△は益)	△69	△6
固定資産処分損益 (△は益)	21	11
投資有価証券評価損益 (△は益)	116	82
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24	△3
持分法による投資損益 (△は益)	14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△965	2,698
たな卸資産の増減額 (△は増加)	182	△839
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	46	△56
仕入債務の増減額 (△は減少)	590	△518
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△36	△196
その他	90	55
小計	5,063	6,828
利息及び配当金の受取額	111	116
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△2,227	△2,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,939	4,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	3,100	—
有形固定資産の取得による支出	△480	△676
有形固定資産の売却による収入	166	33
有形固定資産の除却による支出	△12	△4
無形固定資産の取得による支出	△43	△44
投資有価証券の取得による支出	△81	△499
投資有価証券の売却による収入	77	14
貸付けによる支出	△6	△4
貸付金の回収による収入	7	5
その他	△7	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,720	△1,193

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△109	△45
長期借入金の返済による支出	△113	△118
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△977	△1,109
少数株主への配当金の支払額	△25	△32
自己株式の売却による収入	99	105
リース債務の返済による支出	△87	△33
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,216	△1,234
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,425	2,410
現金及び現金同等物の期首残高	22,629	28,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,054	30,920

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,374	10,835	12,847	2,926	41,984	—	41,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,075	627	—	—	1,702	△1,702	—
計	16,450	11,462	12,847	2,926	43,687	△1,702	41,984
セグメント利益	1,154	1,833	1,705	280	4,973	△935	4,038

(注) 1 セグメント利益の調整額△935百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△934百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,740	11,359	13,865	3,089	44,054	—	44,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,167	829	—	—	1,997	△1,997	—
計	16,908	12,188	13,865	3,089	46,052	△1,997	44,054
セグメント利益	992	2,198	2,060	334	5,586	△979	4,606

(注) 1 セグメント利益の調整額△979百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△979百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 連結子会社の吸収合併

当社は、平成23年10月31日開催の取締役会において、平成24年4月1日を効力発生日(予定)として、当社の連結子会社であるガンツ化成株式会社を吸収合併することを決議するとともに、同日付にて合併契約を締結いたしました。

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

①結合当事企業

当社の100%出資連結子会社であるガンツ化成株式会社

②事業の内容

化成品の製造・販売

2) 企業結合日

平成24年4月1日(予定)

3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式でガンツ化成株式会社は解散いたします。

4) 結合後企業の名称

アイカ工業株式会社

5) 取引の目的を含む取引の概要

ガンツ化成株式会社は当社の100%出資連結子会社であり、化成品を製造し当社の化成品カンパニーへ納品するとともに顧客に販売しております。

この度、当社は経営資源やノウハウの融合によるシナジー効果の最大化を目指し、営業および原料調達力の強化、生産効率の向上を図るとともに、経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を目的として、ガンツ化成株式会社を吸収合併することを決定いたしました。

結合当事企業の直近の財政状態は以下の通りです。

(平成23年3月31日)

売上高	:	6,658百万円
当期純利益	:	366百万円
資本金	:	270百万円
総資産の額	:	5,090百万円
純資産の額	:	3,306百万円

(2) 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

## 2. 自己株式の消却

当社は、平成23年10月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、下記のとおり自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

自己株式消却に関する取締役会の決議内容

### (1) 消却の理由

当社は、平成23年10月31日開催の取締役会において、自己株式の保有に関する基本方針について「発行済株式総数の5%を超える部分は消却処分とする」と決定いたしました。

従いまして、5%を超える部分の消却処分を実施するとともに、将来の自己株式取得も勘案して発行済株式総数の約3.29%に相当する自己株式を処分するものです。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| (2) 消却する株式の種類 | 当社普通株式      |
| (3) 消却する株式の総数 | 2,300,000株  |
| (4) 消却予定日     | 平成23年11月15日 |

# 平成 24 年 3 月期 連結第 2 四半期決算発表参考資料

平成 23 年 10 月 31 日  
**アイカ工業株式会社**  
 コード番号 4 2 0 6  
 東証・名証（市場第一部）

## 1. 連結中間会計期間の業績推移

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前年同期 増減率	営業利益	対前年同期 増減率	経常利益	対前年同期 増減率	中間純利益	対前年同期 増減率
平成								
20年3月中間期(実績)	48,335	0.7 %	4,846	△1.9 %	5,021	0.2 %	2,908	△5.5 %
21年3月中間期(実績)	44,045	△8.9	3,643	△24.8	3,784	△24.6	2,083	△28.3
22年3月中間期(実績)	38,839	△11.8	3,334	△8.5	3,455	△8.7	1,976	△5.2
23年3月中間期(実績)	41,984	8.1	4,038	21.1	4,120	19.2	2,356	19.3
24年3月中間期(実績)	44,054	4.9	4,606	14.1	4,716	14.5	2,733	16.0
24年3月中間期(当初予想)	43,000	2.4	4,100	1.5	4,200	1.9	2,400	1.8

## 2. 通期の業績推移と業績予想

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前 増減率	営業利益	対前 増減率	経常利益	対前 増減率	当期純利益	対前 増減率
平成 20年3月期(実績)	95,984	△4.7 %	9,539	△11.3 %	9,771	△10.6 %	5,395	△16.8 %
21年3月期(実績)	87,609	△8.7	7,006	△26.6	7,024	△28.1	3,585	△33.5
22年3月期(実績)	80,984	△7.6	7,436	6.1	7,644	8.8	4,452	24.2
23年3月期(実績)	89,216	10.2	9,286	24.9	9,447	23.6	5,417	21.7
24年3月期(予想)	95,000	6.5	9,500	2.3	9,700	2.7	5,600	3.4

※通期の業績予想につきましては、平成 23 年 4 月 28 日公表の業績予想からは変更ありません

## 3. セグメント別売上高

(単位：百万円未満切捨)

報告セグメント	平成 23 年 3 月 中間期			平成 24 年 3 月 中間期		
	売上高 (実績)	構成比	対前年同期 増減率	売上高 (実績)	構成比	対前年同期 増減率
化 成 品	15,374	36.6 %	8.4 %	15,740	35.7 %	2.4 %
建 装 材	10,835	25.8	5.4	11,359	25.8	4.8
住 器 建 材	12,847	30.6	5.2	13,865	31.5	7.9
電 子	2,926	7.0	35.1	3,089	7.0	5.5
合 計	41,984	100.0	8.1	44,054	100.0	4.9